

令和5年度 鯖江市 総合戦略推進会議 第4分科会 議事要約

<開催概要>

- ・日時：令和5年10月6日（金）午後2時00分～午後4時00分まで
- ・会場：鯖江市役所 4階 全員協議会室

・議事

1. 開会
2. 議事
 - (1) 基本目標4の各施策実施事業、事業内容およびKPIについて
 - (2) 基本目標4のKPIおよび目標のタイトルについて
3. 閉会

・配布資料：

- 資料No.1 基本目標・基本施策の体系図
- 資料No.2 基本施策1～5（案）

1. 開会

2. 議事

資料No.1 を事務局より説明

資料No.2 を事務局より説明

(1) 基本目標4の各施策実施事業、事業内容およびKPIについて

委員	・ 基本目標4とそのKPIについて意見はないか。
委員	・ 誰にとってが分からないので、アンケートの分析をするべき。KPIの現状値81.5%は、お年寄りが多いのか、若者が多いのか、どのような分布をしているのか見ないと、誰を対象にすべきか分からない。
事務局	・ 年齢ごとの分析が必要ということか。
委員	・ (KPIとして)全体で挙げるにしても、満足している層、満足していない層の現状を把握し、目標を設定するべき。
委員	・ 目標87.5%となっているが、データに基づいた設定か。
事務局	・ 現状値は今回のアンケート結果で、目標値は過去のアンケート結果からの伸び率から設定している。具体的には過去アンケート結果より現状値は5ポイント上昇していたため、それらを勘案し年間1%の上昇を目標と設定した。ただ現時点で年齢ごとの分析はしておらず、この指標の中では推し量れない。データはあるので、年齢ごとの分析は可能。
委員	・ (人によって)快適の度合があると思う。目標値87.5%は残りを取りこぼすと言っているに等しい。誰一人取りこぼさないのであれば、快適じゃないと思っている人の意見を拾って欲しい。一方で残り10%は置いておいて、ひとまずすごく快適なまちをつくる、それも手だと思ふ。(今分析が不足しているので)どちらに考えれば良いか分からないが、個人的には今快適じゃないと思っている人の意見を掘り下げて、きめ細やかなケアができるまちになると良いと思う。
事務局	・ 満足している人の割合となっているため、その裏にいる満足していない人についてどう掘り下げて、どうKPIに表現するか工夫が必要だと思う。検討する。
委員	・ 100%は難しいと思うので、ある程度の取りこぼしは仕方ない考える。基本施策の中で、満足いかないところを取りこぼしのないようにカバーしていけば良いと感じる。
政策経営部長	・ 逆にお聞きしたいが、最終的にSDGsの達成を掲げている中で、無理を承知で目標を100%とする考え方もあると思う。あくまで目標なので理想を掲げるのか、現実的な数値の方が良いのか、ご意見いただきたい。
委員	・ 全体との整合性があると思う。100%にするのはひとつの考え方だが、この項目だけ理想の数値を掲げるのではなく、全体的にそのような姿勢を示さないといけない気がする。取りこぼしても良いと言っているわけではないが、あまり現実離れした数値にすると、達成意欲が下がるのではないかとと思う。目標が低すぎると問題だが、そういう面では現状の設定はいいのかなと思う。

委員	・ 指標の項目やタイトルについては、また事務局の方で検討いただきたい。
委員	・ 「鯖江る！」の説明が本文中にないのが気になる。
政策経営部長	・ この分科会の後に、基本目標 1～4 の表現に見直しをかける予定である。分かりやすくインパクトのある表現を検討したい。
委員	・ 「鯖江る！」も消えるかもしれないということか。
政策経営部長	・ その通りである。「鯖江る！」だけでは分かりにくいので、「鯖江る！○○」のように説明を追記するなど検討したい。
委員	・ 「鯖江る！」は良いと思う。どんなまちにしたいのか含まれていると思う。意味が分からないものを使うのは良くないので、そこだけ検討していただきたい。
委員	・ K P I について、私も川島委員と同じ意見で、あまり大きな目標を設定してしまうと頑張る意欲をそいでしまうと思っている。小さな目標の達成を積み重ねることで、より高みを目指していく方が良い。現状値が前の結果から 5 ポイント上がったことを踏まえて今回の目標設定があるというお話もあり、上昇の度合が低減しているわけでもないので、設定の仕方としては悪くないように思う。ただ分析をするときに、5 年前の年齢別の分布がどう変化したのかを見ないといけない。中身をみると、高齢者の回答が増えて、高齢者が快適になったと答えているだけで、若者を見ると下がっているという場合もあると思う。

(2) 基本目標 4 の KPI および目標のタイトルについて

基本施策 1 について

委員	<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請件数より割合が重要だと思う。率にした方が良い。今何%か教えて欲しい。
デジタル推進課長	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きの多くが紙申請による手続きとなっている。一部双方でできるようになっている。アンケート等に関しては出来る限りオンラインで出来るように取り組んでいる。ただ行政手続きにおける紙申請の件数が内部で把握できていないため、今後調査しながら出来る限り双方で出来るようにし、市民のニーズに応えたい。そのため電子申請率は今のところは出せない。今後は内部で精査し、把握出来るようにしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> それであれば、様々な事業をデータ化するところから始めていただきたい。正しい KPI がそもそも取れない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 実施施策①に電子申請等事業が挙げられているが、デジタル申請ができる数、割合を KPI とするのはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 良いと思う。千事業ぐらいあると聞く。事業ごとに申請があると思うので、デジタル申請ができるものが増えれば良い。ただ、あまり申請数が少ないものから始めても意味がないと思うので、申請数の多いものから重点的に取り組んではどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> KPI において、HP 閲覧者数が今より増えた方が良いだろうということだと思うのだが、何万人いたかということよりも、HP を見て用事が済んだのか、知りたいことが分かったのかなどが大事だと思う。その辺のデータはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> HP 上に「目的は達成されたか」のアンケートがあるため、数値は持っていると思われる。データ量と信憑性が担保されれば、KPI として可能だと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そのようなアンケートが付いているページが増えているが、私個人は本当に解決した時は回答するが、そうではない時は回答していないような気がする。信憑性についてはないように思うが、HP が役に立つのかどうか、情報を提供する側は常に問題意識を持たなければいけないと思った。その結果が、閲覧者数が増えたり、オンライン申請件数が増えたりすることに繋がってくるのではないかと思う。特にネットリテラシーが低い人が欲しい情報を見つけれずに結局電話してしまう、役所に来てしまうということがあると思う。KPI が増やせるのであれば、このような面を KPI に入れた上で、これら KPI の関連性を追いかける方が良いのではないかと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 担当に確認すると、やはり（HP 上のアンケートの）数字は把握できるとのこと。検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今すぐ入れられそうな KPI として、デジタル対応サービス率は可能だと思う。P2 を見ると、マイナンバーカードを活用したサービス件数があるので、全体の件数の中でデジタル対応できるのは何件か。マイナンバーを活用しないデジタル対応もあると思うので、全体として今何%で、目標何%を目指すのか検討いただきたい。また申請件数の多いものから取り組むと満足度も上がりやすいのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 前向きに検討したい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータ関係を入れていただいているので、コメントしたい。自動化事業は非常に良いと思う。自動化しただけでは市民には見た目上分からないので、ダッシュボードの作成をフリックテックで行うということをぜひ事業化したいと思う。リアルタイムにデータが出るが、見える形にしないと分からない。簡単なグラフ化を自動化とセットでやりたいと思う。お金を出してダッシュボード化出来るものは色々あるが、せっかく高校でシビックテックを推進しているので、みんなであんなのあったらいいよねと考えて、みんなで作っていききたい。
政策経営部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の中身については、また委員のアイデアをいただきながら検討したい。ご協力をお願いする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携事業の方に、シビックテックやダッシュボード化について入れていただければ良い。

基本施策2について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰に向けているのかははっきりさせないといけない。誰にとってどうなのかを書かないと、仮に年配の方がこれを読んで「何やるか分からん」、若者が読んで「確かに魅力的」で良いのか。みんなが読んで「魅力的」だとするのか、ターゲットを絞るのか、現状を把握するためにもデータが欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPI の居住誘導区域内の人口率について、現状値と目標値が同じだが目標を達成しているということか。
都市計画課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前は 55.8 を令和4年度に 56.4 に上げる目標を設定していたが、令和3年度で 56.2、令和4年度で 56.1 と人口率が下がってきているため、令和4年度の数値を最低限維持していきたいという思いで、同じ数値にしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住誘導区域の意味を教えて欲しい。
都市計画課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画マスタープランを高度化した立地適正化計画という計画がある。この計画の中に居住を誘導する区域と都市機能を誘導する区域、この2つの区域を定めている。この中心となるのが用途地域内で、鯖江市で言うと鯖江地区、神明地区、立待地区の一部等となる。居住誘導区域は、工業系の用途地域等を除いた現に市民が住んでいる地域を指定している。その中に都市機能誘導区域として、医療や商業などの生活利便施設を誘導する区域を設定している。この居住誘導区域の中の人口率が 56.1%となっている。コンパクトシティを目指す、
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ややこしい。
都市計画課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉で伝えるのはなかなか難しいので、図面をお持ちすればよかった。極端なことを言うと、鯖江のまちなか、サンドームからニトリのある辺りまで南北に用途地域が指定されているので、そこに人が増えれば人口率は上がる。逆に日野川から西部の方に宅地造成の開発が増えると人口率は下がる。立地適正化計画はコンパクトシティを目指しているので、市の中心部に人を集めて、あるいは都市機能を集約して、持続可能なまちづくりを進めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車を持つ若い人は、別に郊外に住んでも構わないという人もいるのでは。
都市計画課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決して郊外の農村集落を見捨てるというわけではない。農村集落を維持しつつ、まちなかへのネットワーク、バスなどの公共交通を使って移動できるように考えている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体会議でも言ったが、目的は分かっているが田舎の方は見捨てられた気持ちになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街化区域に人を誘導したいと言われているのは、郊外化は簡単に進むがコンパクトシティが上手くいった事例はほとんどない。どういう方法を使えば良いのか分からない。ここに掲げられているそれぞれの施策を見ると、きめ細かくされていると感じる。ただ結局は、基本目標2にも関係するが、シビックプライドを如何に醸成するか、面白い地域をまちなかに作れるのかにかかっている。政策をたくさんしても即効性はほとんどない。まちのどこかに若者が集まる楽しそうな地域ができて、その周辺に住みたいとみんなが感覚的に思った時に実現するのだろうと思う。そこが全て行政の役割だとは思わないが、その時にアクションを起こしたいと思った人をどう支援するのかについては、制度としては良くできていて感心している。今後ますます空き家が増えてくるだろうと思うが、それに対して補助金だけでなく、若い人が集まりたい、住みたくなるような施策は考えているのか。
政策経営部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の分科会でもお話があったが、空き家のリニューアルに力を入れたい。他市では新築に対する支援も行っているが、今使える空き家をリニューアルし居住していただく支援を充実させていく方が、今の時代に合っているのではないかと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸で良いのでモデル地区を設け、空き家を中心にリノベーション等の環境整備をして、そこに住んでくれる人、商売をしてくれる人を募るという形でスタートするのもありではないか。下北沢では、ポーナストラックという商業施設がある。低層住宅2階建ての規模のお店が集まっていて、カフェや本屋などがある。週末はすごく若者が集まっている。若い人はそういうものに興味があり、行きたいと思っている。そのようなエリアを作って、誘導しても良いのではないかと思います。今、政策的にこうなれば良いはあるが、具体的な完成イメージはないので、意外と人は動きづらと思う。集中的にエリアを作って、それに続きたいひとには、今挙がっている支援を行うとスムーズに進むのではないか。
防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鯖江市の空き家対策として、防災危機管理課で事業者向けの空き家利活用の補助金を出している。年間3件ほどしかできないが、毎年多くの応募をいただいている。郊外が多く、中心市街地ではあまりないのが現状。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ それを出来るだけまちのなかで出来るように、モデル地域を作ってはどうかという意見である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPIにおいて、空き家が解消された戸数が載っているが、解消とは、取壊した場合も、新たな入居者が入られた場合もあると思う。目指しているのは、取壊しよりもリニューアルして活用するのであれば、そちらの方向の数値は把握できているのか。もし把握できているのであれば、KPIとしてそちらの方が良いのではないか。
防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家情報バンクには、利活用可能な物件を登録していただいている。解消については、解体したもの、入居されたもの、利活用されたものを合わせた数値となっている。空き家情報バンクに登録されている全てが利活用されているわけではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川島委員に教えていただいたポーナストラックについて、鯖江横丁が近いと思うが、まちなかの広い所として、嚮陽会館を壊してそこをいい感じに出来たらとも思う。西山公園と嚮陽会館の今のターゲットが違うのも勿体無いと思っている。進ん

	でいる計画があれば載せても良いのではないか。
政策経営部長	・ 嚮陽会館については、出せる情報としては、リニューアルする方向で進めている。嚮陽会館は今貸館として利用しているが、複合施設としてのリニューアルを目指している。NPOセンター、市民活動や集まりの場としての機能と子どもの屋内遊戯施設の機能を追加し、多目的ホールはそのまま使えるように残したい。今年度中に基本計画を作る予定をしている。
委員	・ 商業施設は入らないのか。
政策経営部長	・ 公園区域なので商業施設は入らない。
委員	・ 越前市では、公園の周りに素敵なコンテナのお店があったりするが。
政策経営部長	・ そのような場所もあるが、景観や交通渋滞に配慮している。
委員	・ だいぶ古いと思うが（リニューアルで大丈夫か）。
政策経営部長	・ 歴史ある建物という位置付けもあるため、新しくするだけが方法ではない。お金の面もあり、基本的にはリニューアルで進めている。
委員	・ せっかくなら商業施設もいれて欲しい。そこ（3機能）だけだと越前市の魅力に勝てないのではと思う。
政策経営部長 10550	・ 越前市にスタバはあるが、ショッピングセンターがあるわけでもない（ので単純に比較できない）。若者・若い親子が土日を中心に集まってくるような商業施設、飲食店を含めて内部で検討を進めている。

基本施策3について

委員	・ タクシーが1社減ってしまい、タクシーが捕まらない問題が深刻になっている。バスについて、徳島県の神山町は、バスを廃止してタクシーを85%補助するなど、タクシーが残るような取り組みをしている。タクシーが残るような選択も部分的には有ではないかと思う。バスの自動運転化がされるまでは、行政の補助が必要ではないか。バスに費用がどれくらいかかっているのかデータを市民にも出して、そんなにかかっているなら、タクシー補助でもいいのではないか、という選択になってもいいと思う。夜中にタクシーがいなくて、タクシーがないのに並んでいる人がいるような状況は良くない。交通面の対応はいろんな可能性を含めて考えた方がよい。
政策経営部長	・ R8まではコミュニティバスの運行を継続予定。他市町ではデマンド化が多いが、根本は、タクシーの運転手がいなくて問題。今鯖江市では10台しか走っていない。デマンドとかバスとかよりも、運転手の確保に向けた対応が問題だと思う。どういう風にすれば確保できるのか、タクシー会社と話し合い、支援策が出来ないか検討している。外国人運転手や自動運転の可能性も含めて検討していきたいと考えている。
委員	・ 自動運転にすればいいのではないか。
政策経営部長	・ 可能性は高いが、慎重に検討している。
委員	・ 駅東口の駐車場は結構埋まっている。つぶすと困るのではないか。
都市計画課長	・ 昨年、駐車場の需要予測をしている。交通広場を整備すると、約50台が不足すると予測されている。そのあと、越前たけふ駅では、600台の無料駐車場が確保されるとの情報を得ている。また、現在、北鯖江駅では比較的空いている部分がある。

	周辺の民間の駐車場の空きも30~40台分あることから、そちらで補っていくことができないか考えている。具体的には、開通後の利用実態を踏まえて、駐車場の在り方を検討していきたいと考えている。
政策経営部長	・3/16まではJR所有のため手が付けられない。その後、臨機応変に検討していきたい。
委員	・駐車場をつぶさないという選択肢も含めて考えて欲しい。何をもって快適とするのか。今いいことが悪くなることについて、市民は敏感である。改悪することについてはデータを見てやった方がよい。
委員	・「自家用有償旅客運送」は河和田でやっているものか。実施事業に上がってきていないが、こういう取組を広げていくわけにはいかないのか。
政策経営部長	・現状として交通弱者の方が多いということで河和田地区限定でやっているが、それほど大きな効果が認められていない。こちらにも有償ボランティアの方、運転してくださる方がいない。制度は作ったがニーズに答えきれていない。隣近所の付き合いなども残っている地区ということもあり難しい部分があると感じている。
委員	・東部地区は高齢化が進むと中々動きづらいと思う。カバーできるとよいと思う。バスで買い物などになると、重い荷物となる可能性もあるし、ドアツードアで対応できるとよいと動きやすくなると思う。
政策経営部長	・4、5年に一度、町内の役員など、いろんな人の意見を聞いてバスのダイヤを見直すが、使ってもらわないと残せない面も大前提としてある。要望するのであれば、使っていただかないと残せない。
環境政策課長	・地域公共交通さばえがやっているが、利用者がいなくて採算が合わないときいている。鯖江全体ではできなくて、河和田地区だけ対応しているが、デマンド交通など新たな交通手段の検討としては「新たな交通手段導入検討事業」として対応できるように記載している。
委員	・幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備満足度の分母は、二次交通網を使っている人か。
事務局	・基本目標Ⅳのところでは、アンケート回答者全体が母数となっている。
委員	・使わない人が満足しているとか、していないとか、不思議な感じがする。
政策経営部長	・ターゲットが絞り切れていない中でアンケートをしている。暮らしの中での二次交通なのか、観光の中での二次交通なのか絞り込みが必要だと感じている。
委員	・満足というのが抽象的で、うちの近くを通っているから嬉しいとか、本数が間に合うとか、わかりにくく感じる。

基本施策4について

委員	・防災、安全・安心なまち、空き家については施策2と重複しているところもある。特定空家がどれだけ解消できたのかというのは、より目標に対して直接的な、意義のあるKPIとなるではないか。
防災危機管理	・検討して、空き家解消を特定空家の解消率とする。
委員	・防災、安全・安心なまちづくり的には、その方がよいと思う。防災・安全上問題のない空家もいっぱいある。それが利活用によって解消されたというのは、この目標のKPIとして適していないと思う。変えた方がよい。現時点で特定空家の数や、こ

	の1年くらいでの解消数は今でるか。
防災危機管理	・ 後ほど調べて回答する。
委員	・ 防災・福祉委員会とは何か。
防災危機管理	・ 防災・福祉委員会とは個別避難計画の作成に取り組む委員会。今年から全市的に各町内で計画策定を進めている。昨年は4地区をモデル的に先行実施している。
委員	・ 全国的なものか。
防災危機管理	・ 国としてはR7までに作成するよう、指導している。
委員	・ 災害が起きた際、自分一人では避難できない人に対して、近所もしくは自主防災組織の人間が支援者となって手助けして避難させようという行動計画で、委員会である。
防災危機管理	・ 昨年度の4町内分のみを入れている。 ・ 先ほどの特定空家の件について、認定数が40件、解消したのが9件、残り31戸となっている。
委員	・ 空き家対策協議会の方でも、今年これぐらいと示されていたと思うので、そちらも踏まえて目標値を設定していただけるとよいと思う。
委員	・ 「WEBカメラの活用による河川水位情報等のリアルタイム公開」について、鯖江市がそれぞれの河川につけているのか。県の方はよく見ているのだが。
都市整備部長	・ 県に出ているものと、市で設置しているものの情報を県のHPに載せてもらおう、もしくは丹南TVの方に、水位などの情報を提供して載せていただいている。そんなに個数はないので、また重要な個所を選定して進めていきたい。
委員	・ 現在の設置数は何か所ぐらいなのか。
都市整備部長	・ 最近つけたものは、神通川。県に登録していないが、調整中の河川もいくつかある。また確認する。
佐委員	・ 「橋梁長寿命化に伴う修繕箇所数」について、2➡2というのは、どういうことなのか。
都市整備部長	・ 現況と目標値ということでおかしな書き方になっている。また調整したいと考えているが、5年間に2箇所ずつ、コンスタントにやっていくということである。表現は工夫する。
委員	・ WEBカメラをうたうのであれば、その設置箇所数を目標にはできないか。
都市整備部長	・ 何か所つけるというのが、危険箇所など、設置個所の検討が十分ではなく、目標値として設定が難しい状況である。
委員	・ ありがとうございます。

基本施策5について

委員	・ KPIの「道路・河川里親の活動団体数」「公園里親の活動団体数」について、活動団体数が同じなのは、現状を維持することに力を注ぎたいということなのか。維持するのが大変という前提があるのか。
都市整備部長	・ 住民の方に協力いただいて対応しているため、高齢化が進み、なかなか携われない方も増えている。それを踏まえて、現状維持の形を目標としている。前計画では増やしていく目標としていたが、全計画期間に大分努力して増やしてきたことを踏まえ、継続していきたいと考えている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が原因で現状維持ということは、時間がたてば下がる目標ということか。次の5か年では現状維持さえ難しい目標ということか。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化というよりも、自治体に協力していただいている。次の世代に引き継いでいただくということで、なるべく減らさないように協力していただきたいという考えである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体数を維持するための啓発活動などを新たに KPI などにしなないといけないようにも感じるが、今回の目標値の設定は、次の代の活動に引き継がれることも目標に含めたものとなっているという理解でよろしいか。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それも含めての支援。新しい団体の確保も考えてはいるが現状の数字の維持を目標としている。 ・ 先ほどの WEB カメラについて、市単独で設置しているのは神通川に2箇所ということである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ P16 下、課題解決に向けて取り組むべきこととして、「事業系のごみ排出量が増えているため、収集業者と協力し削減につなげる必要があります。」とある。事業系のごみ排出量について、数値を把握しているのか。しているのであれば課題に対する KPI として挙げてもいいのではないか。 ・ KPI は市の「CO2 ロードマップ（2050 年に向けて）」と整合が取れているのか。
産業環境部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロカーボンの数字は、「ロードマップ」の数字を反映している。 ・ 事業系のごみの数値について、排出量は把握している。
農林政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパート関係など、事業系のごみ把握している。収集業者から聞き取りを行っている。 ・ 現在の KPI には反映していないが、収集業者から聞き取りを行っている中で、これから取り組んでいかないといけない課題が明らかになってきている。市内に大きなドラックストアが増えてきており、食品系の廃棄物がかなり出ている。セブンイレブンなどでは堆肥化・循環の取り組みなどを行っているが、ドラックストアはそのまま出していると聞くので、今後指導・お願いしていかないといけないと考えている。また、おむつについても取組が必要と考えている。
産業環境部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPI 目標値としてあげられるか検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業ごみは難しそうである。
産業環境部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しいと思われるが、必要なことだと思われるので検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2 の排出量を減らすのは大変だと思うが、具体的な目途があるのか。
農林政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市レベルでは難しいところもある。現時点で取り組めることとしては節電などが考えられる。国の方でも新築の際の太陽光発電設備の義務化するなどの話もあったが見送られたと聞いている。まずは国・県の大きな部分で取り組む部分、市レベルの実現可能な部分での取り組みをしていきたいと考えている。2050 年までにプラマイゼロにするには、技術的な問題もあるが、出来るところから進めていきたい。
産業環境部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ J-クレジット制度など国レベルの取組をインセンティブとしてうまく活用できる施策も考えることができないか検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変だと思うが、掲げているのでどれくらい説得力を持ってできるのかと心配に

	<p>思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を通して見た時に、基本的にデジタルの力を活用して問題解決をという中で、基本目標IVでは、施策 1 以外はデジタルの力をどう活用しているのか見えにくいと感じる。デジタルの力を活用して、ここの解決に結びつけたいな、などが書けるとよいと思う。
農林政策課長	<ul style="list-style-type: none"> CO2 の排出量は、産業部門や業務部門等、各部門の積み上げででてきた数字。市では、家庭部門・運輸部門で太陽光、電気自動車といった取組を支援していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 全体的なところでのご意見はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策 2 のところで、まちづくり、まちなかの創造は、お金をかけずに抜本的なものを実現するのは難しいと思う。若い人、今住んでいる人で生産意欲・消費意欲のある人たちを呼び込んで、鯖江市が思っている特定の場所に誘導しようと思うと、若い人はきれいなまちに住みたいのではと思う。まちがきれいということに大きな関心を持っているのではないかと思う。道路がきれい、まちなみが緑化されている、夜に街灯が灯っている。安全である。そんなまちなみ、居住空間を大事に考えているのではないかと思う。福井市で言うと高柳など、市が力を入れている場所と比べると、鯖江市は暗いとか古めかしいとか、汚いとか思ってしまう部分があると若い人は気にするのではないか。誘導するなら、それなりに目を引くような、重点的に魅力を添加した住宅地域を創生していかないといけないと思う。ピンポイントでみると西山公園や眼鏡会館前の道はきれい。人に住んでもらおうと考えると、ある程度都市計画というレベルで、きれいなまちをつくるということに目を向けないといけないと思う。つつじマラソンに参加した際、めがね会館の前はつつじがいっぱい咲いているように道を整備すると聞いているが、そんなに咲いていない。大野市などきれいなまちとして脚光を浴びている中で、きれいなまちの整備についてもう少し目を向けて考えていただいてもいいと思う。 あと空き家について、利活用できる空き家はいいが、どうしようもない空き家がたくさんある。どうしようもない空き家は壊すしかない。壊すためにはお金がいる。お金がいる問題については補助金で何とかなるかもしれない。その前に権利関係が手が付けられないようになっている場合もある。本町にもどうしようもなくなっている空き家が 2 件ある。民にまかせていたら一生解決しない。都市計画レベルで、土地収用なども使っていないと、どうしようもない空き家は増えるし、それをほっとくと町が汚くなる。そうならないように草の根運動をしているが、市には抜本的なところを考えて欲しい。そういうところに手をつけて魅力的なまちになると思う。
政策経営部長	<ul style="list-style-type: none"> 我々も商店街は気にしている。本町 1・2 丁目は大きな問題だと認識している。個人の財産という問題もあり、開発しようと考えたが住民の理解が得られなかった。現状では打つ手がない状況。商店街との話し合いにも行っている。住民を本気にさせることができるよう取組んでいきたい。 まちをきれいにするということでは、まち美化ということで、お金をかけずにまちをきれいにしようと取り組んでいる。ボランティアや市民力をお願いして、力を入れている。北中山地区はそのような活動が盛ん。一方他地区では、高齢化で面倒が見切

	<p>れないから市に何とかして欲しいという声も聞く。そういうことも含めて、まちに色をつける活動・魅力づくりは引き続きやっていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどシビックプライドという話もあったが、自分のまちを自分でまもるという意識付けの中で、美化活動にも取り組んでいきたい。我々もがんばるのでよろしくをお願いします。
--	---

3. 閉会

委員	・以上をもって、総合戦略推進会議 第4分科会を閉会とする。
----	-------------------------------

(以 上)